

国際共同研究事業 令和 4(2022)年度実施報告書

令和 5 年 4 月 12 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

[日本側代表者所属機関・部局]
神戸大学・大学院法学研究科
[職・氏名]
教授・砂原庸介
[課題番号]
JPJSJRP 20211704

1. プログラム名 英国との国際共同研究プログラム(JRP-LEAD with UKRI)

2. 研究課題名

(和文) 連続サーベイと量的テキスト分析によるパンデミックにおける信頼とその変化の測定

(英文) Measuring Trust and its Variance during the COVID-19 Pandemic Using Serial Surveys
and Quantitative Text Analysis

3. 共同研究実施期間

令和 3 年 12 月 1 日 ～ 令和 6 年 11 月 30 日 (3 年 0 ヶ月)

4. 相手国側代表者(所属機関名・職名・氏名【全て英文】)

Brunel University London / Professor / Dorothy Yen

5. 当該年度実施状況

- ・当該年度実施計画書の「当該年度実施計画の概要」の内容と対応させつつ、当該年度の実施状況を簡潔に記載してください。再委託又は共同実施を行った場合は、それぞれの実施状況がわかるように記載してください。
- ・当該年度又は前年度(複数年契約を締結し繰越を行った場合)の各費目における増減が研究経費総額の 50% (この額が 300 万円を超えない場合は 300 万円)に相当する額を超えた場合は、その理由と費目の内訳を変更しても計画の遂行に支障がないと考えた理由を記載してください。

イギリスの共同研究者とともに基本的な調査票の作成を行い、倫理審査とプレテストを経て 2022 年 7 月から本調査を実施している。日本側では毎回 1500、イギリス側では 500～600 のサンプルサイズを想定し、毎月 15 日から実査をスタートすることとし、RA の学生の協力を得て 2023 年 3 月までにすでに 9 回の調査を完了した。この調査においては、毎回基本的に同じ質問を行うコア質問と、調査ごとに変更するアドホック質問を用意し、アドホック質問の中では複数回のサーベイ実験を実施した。

このうち、コア質問については、推移を見ながらイギリス側の共同研究者(オランダの大学に異動した Pickering 教授も含む)とともに分析を進めている。現在のところ、人々の行動変容を考えるにあたって、信頼とともに脅威認識が重要であるという知見を得つつある。2022 年 3 月には、日本側から研究者がイギリスに出張し、これらの知見について議論を行うとともに、得られてきた分析結果について英国国会議員などを招いてイギリス議会で公聴会を行った。この公聴会には、ブルネル大学の関係者のほか、Pickering 教授が異動したアムステルダム大学の関係者、イギリスの NHS 関係者、日本の在英大使館に勤める実務家なども招待され、活発な意見交換が行われた。また、アドホック質問で実施されたサーベイ実験等については、現在、いくつかの実験の分析を進めており、それに基づいた論文等の執筆を進めている。

連続サーベイは順調に進められている一方で、量的テキスト分析については、当初データの取得を予定していた Twitter 社の経営陣の交代とそれ以降のデータ提供方法の変更や Twitter 社の社会的評判やツイートのインプレッションなどの変化のために、研究計画の見直しが生じている。当初、ツイートを利用して地域の特性に関するデータを収集しようと考えていたが、より直接的に地域ごとのデータを収集する方向で検討している。具体的に収集するデータについては、Pickering 教授がイギリスの地域データについて検討し、類似するデータを日本でも収集する予定である。

7. 研究発表(当該年度において本共同研究の一環として本事業による支援を受けたことを明示して発表したものについて記載してください)

[雑誌論文] 計(0)件 うち査読付論文 計()件

通番	共著の有無 ^{*1}	著者名、論文標題等 ^{*2}
1		
2		
3		

[学会発表] 計(0)件 うち招待講演 計()件

通番	共著の有無 ^{*1}	発表者名、発表標題等 ^{*2}
1		
2		

[図 書] 計(0)件

通番	共著の有無 ^{*1}	著者名、著書名等 ^{*2}
1		

*1 相手国側参加者との共著(共同発表)がある場合は○と記入。

*2 当該発表等を同定するに十分な情報を記載すること。例えば学術論文の場合は、著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年(西暦)、最初と最後の頁、掲載論文の DOI、学会発表の場合は発表者名、発表標題、学会等名、発表年(西暦)、発表地(国名、国外開催の場合のみ)、図書の場合は著者名、著書名、出版社名、発行年(西暦)、総ページ数、ISBN、など(順番は入れ替わってもよい)。相手国側参加者との共著となる場合は、著者名が複数であっても省略せず、その氏名を記入し下線を付すこと。

*3 足りない場合は適宜行を追加すること。

8. 本事業による産業財産権の出願・取得状況(当該年度に出願又は取得したもの)

[出 願] 計(0)件

通番	産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、出願年、国内・外国の別
1	

[取 得] 計(0)件

通番	産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、取得年、国内・外国の別
2	

* 必要に応じて、欄を追加してください。